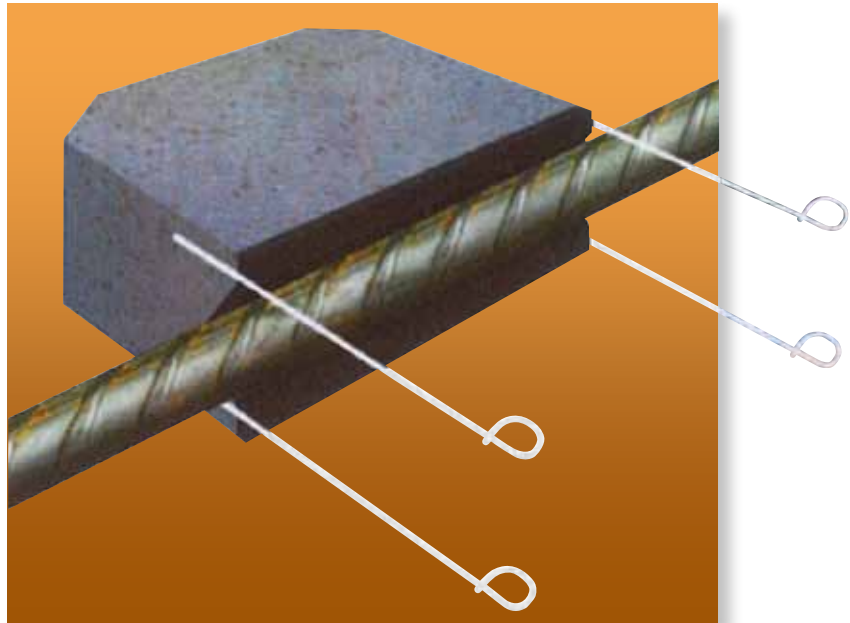


鋼材を腐食から守る犠牲陽極材

ショーボンド サビナインZ



9つの特長

- ◆ 優れた腐食抑制効果
- ◆ 効果を持続させる特殊モルタル
- ◆ 腐食抑制範囲の拡大
- ◆ 施工性向上
- ◆ はつり量の低減
- ◆ 目的に応じて3タイプを用意
- ◆ 多くの断面修復材に対応
- ◆ メンテナンス性向上
- ◆ 表面に出ない

■補修工学[®]— 構造物の総合メンテナンス企業

ショーボンド建設株式会社

サビナインZとは

サビナインZは、内蔵された亜鉛と鉄筋のイオン化傾向の差を利用し、腐食抑制電流を鉄筋に対して流すことで腐食を抑制します。V字型の切り込みのある形状により、鉄筋への取り付けが正確で容易です。期待耐用年数に応じて3タイプを用意しています。

種類	亜鉛量	耐用年数	寸法
α	38g	～20年	33×56×75mm以上
β	100g	～25年	36×50×105mm以上
γ	200g	～30年	36×50×120mm以上

特長

①優れた腐食抑制効果

内部に含まれる高品質な亜鉛のインゴットによって長期間継続的に腐食抑制電流を供給し続けます。

②効果を持続させる特殊モルタル

2種類の亜鉛刺激促進剤を添加することで、長期間継続的に腐食抑制電流を供給します。

③腐食抑制範囲の拡大

V型の絶縁板は、腐食抑制電流の影響範囲を広げます。

④施工性向上

V型の絶縁板により容易にかつ正確に取り付けることが可能です。

⑤はつり量の低減

V型の絶縁板により、鉄筋側面に取付けられるため、鉄筋背面に穴を掘る必要はありません。

⑥目的に応じて3タイプを用意

⑦多くの断面修復材に対応

電気抵抗率の条件を満たせば、様々な断面修復材が使用できます。

⑧メンテナンス性向上

電源が不要です。

⑨表面に出ない

鉄筋側面に取付け可能なため、断面修復材内部に隠れます。

施工要領

1 施工箇所の前処理

- 施工箇所の前処理を実施します。

2 鋼材間の導通確認

- 露出させた鉄筋間の導通をデジタルマルチメーターを用いて、1mV以下であることを確認します。
- 1mV以上の場合、導通が取れていないため、導通用鋼材を設置し、防食対象となるすべての鉄筋の導通が得られるように処理します。

3 鉄筋の表面処理

- 設置用ワイヤーを取り付ける部分の鉄筋表面に錆などが付着している場合は、ワイヤブラシ等を用いて地金が出るまで除去します。

4 サビナインZの取り付け

- V型絶縁板にモルタルを充填し、V型絶縁板を鉄筋に沿うように設置し、堅固にワイヤーを鉄筋に巻きつけます。

5 鋼材-サビナインZ間 導通確認

- サビナインZと鉄筋が電気的につながっているか、デジタルマルチメーターを用いて確認します。
- 直流電圧で1mV以下、あるいは直流抵抗で3Ω以下であることを確認します。

6 断面修復処理

- サビナインZの取り付け完了後は、電気抵抗率が材令28日で50kΩ・cm以下、好ましくは15kΩ・cm以下の断面修復材でサビナインZを覆います。
- かぶり厚さを15mm以上とします。

■製造元

ショーボンドマテリアル株式会社

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-10 TEL.049(225)5611(代表)

<http://www.sb-material.co.jp>

■販売元

ショーボンド建設株式会社

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-8 TEL.03(6861)8101(代表)

<http://www.sho-bond.co.jp>

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

●取扱い営業所